

令和3年7月10日

令和3年度第1回 区政モニター会議資料

「北区の防災対策」

～主に「大規模水害対策」と「ご自身の備蓄」について～



写真：平成27年茨城県常総市鬼怒川水害



北区 危機管理室 防災・危機管理課

本日の流れ

1. 水害のこと
2. 備蓄のこと
3. その他防災に関する区取り組み
4. グループ討議

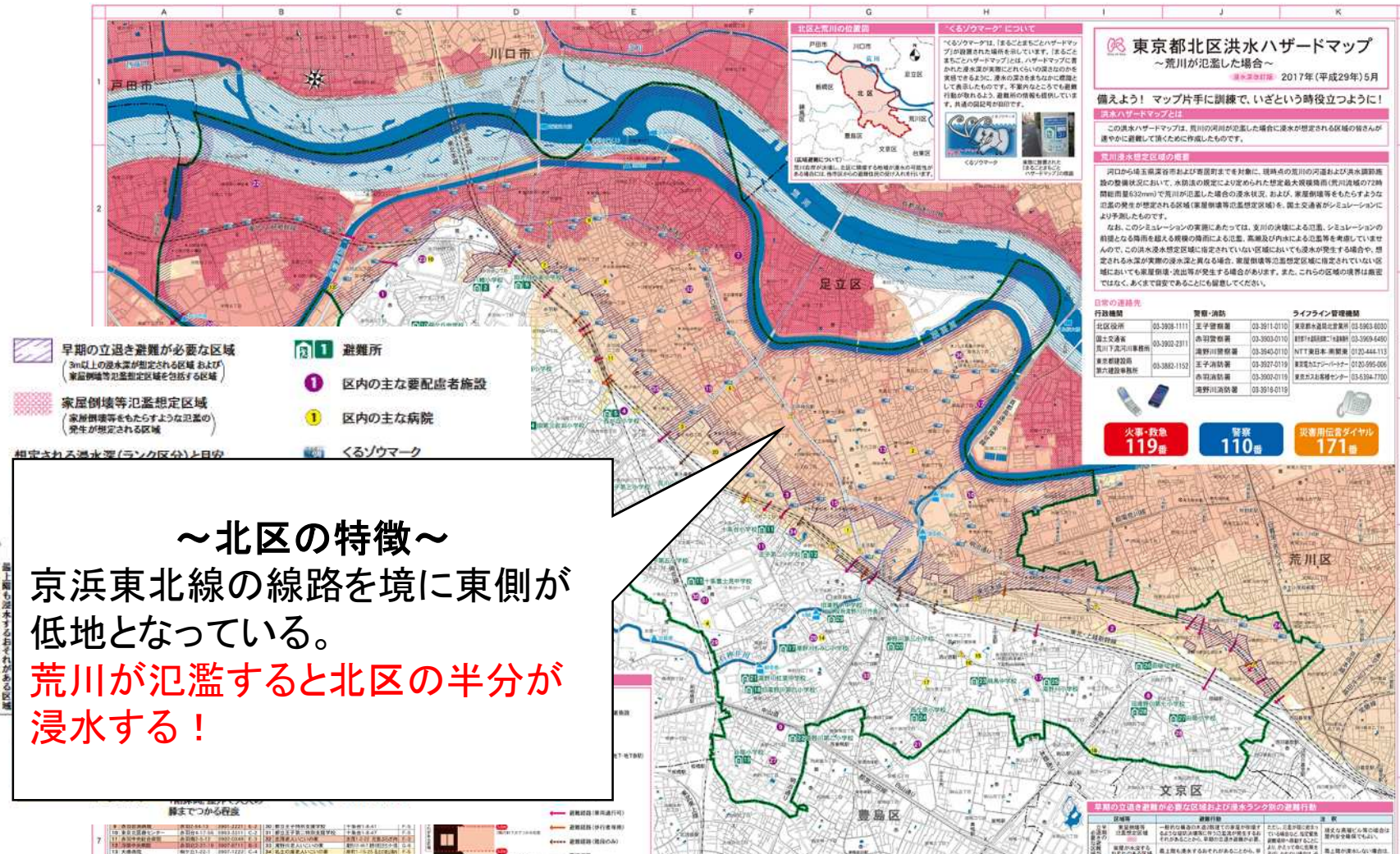
荒川はどんな川？

- ・埼玉県秩父山地の甲武信ヶ岳（標高2,475m）を水源としている。
- ・埼玉県と東京都を流れている。
- ・日本一広い川幅を持った川である。
- ・過去には何度も荒れ、地域に水害による被害を与えてきた。
- ・降雨等により数日前から洪水を予測することができる。

（国土交通省関東地方整備局荒川上流河川事務所HPより）

荒川が氾濫したら

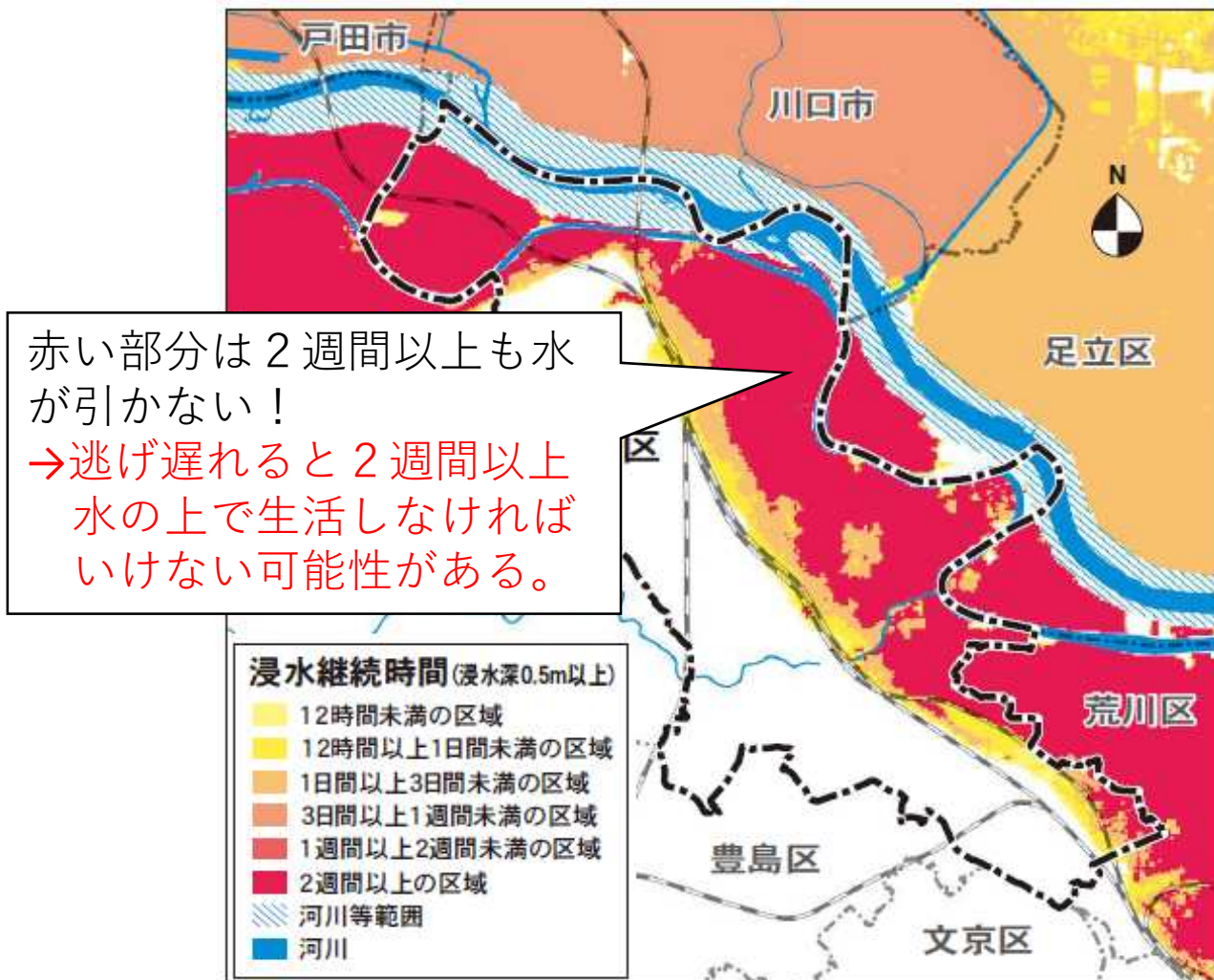
荒川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)



荒川流域3日間 総雨量 632mm

荒川が氾濫したら

荒川洪水浸水想定区域図(浸水継続時間)



出典：北区洪水ハザードマップ～荒川が氾濫した場合～（平成29年5月）

石神井はどんな川？

- ・小平市内を水源としている。
- ・西東京市を経て、練馬区・板橋区を通り、北区内で隅田川に合流します。
- ・都内の中小河川の中では比較的大きな規模の河川
- ・雨が強くなってから河川の水位が上がるまでの時間が短い。

（東京都建設局HPより）

石神井川が氾濫したら

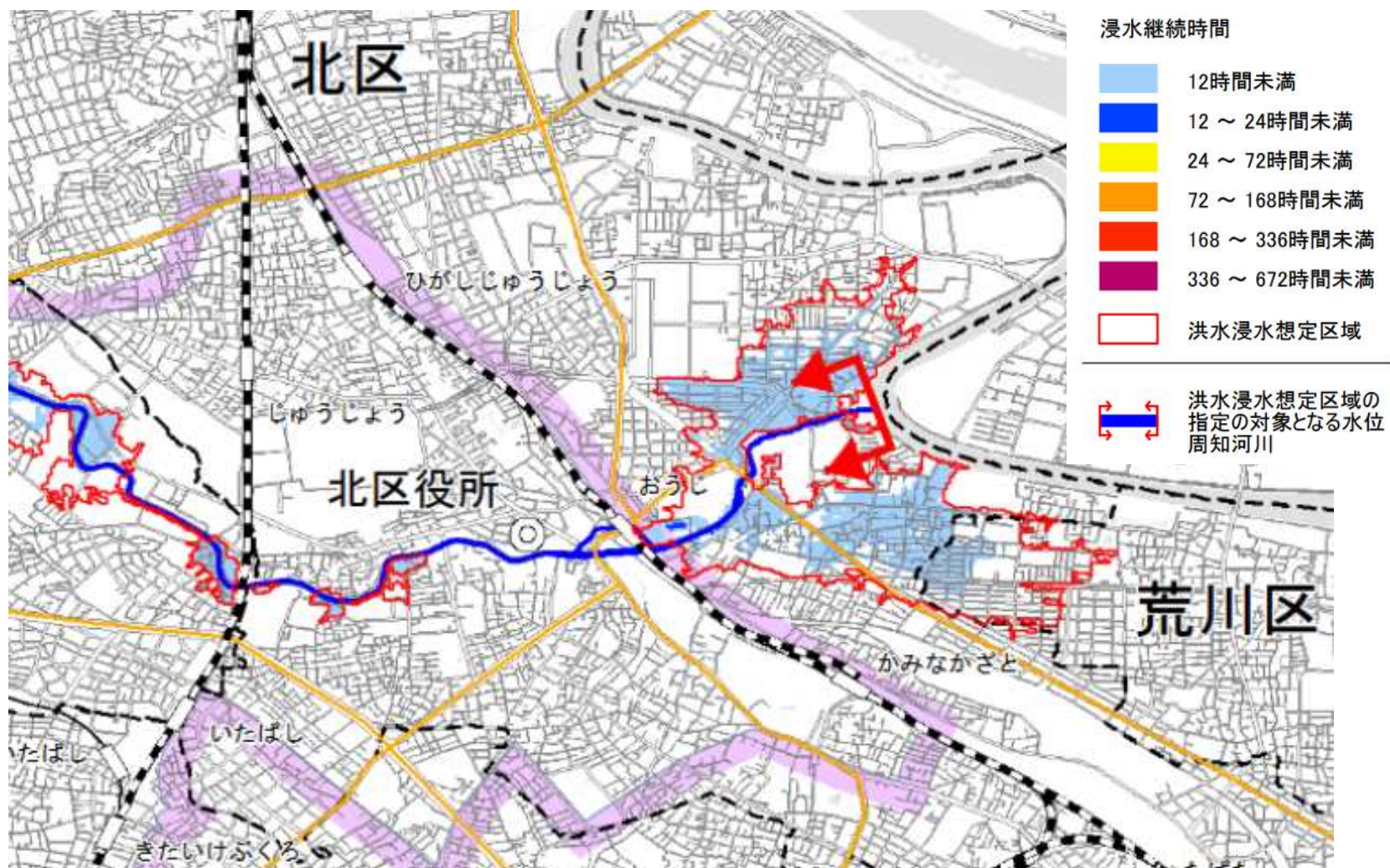
石神井川及び白子川流域 浸水予想区域図(河川氾濫＋内水氾濫)



出典：東京都建設局「石神井川及び白子川流域 浸水予想区域図」(令和元年5月)

石神井川が氾濫したら

石神井川洪水浸水想定区域図(浸水継続時間)



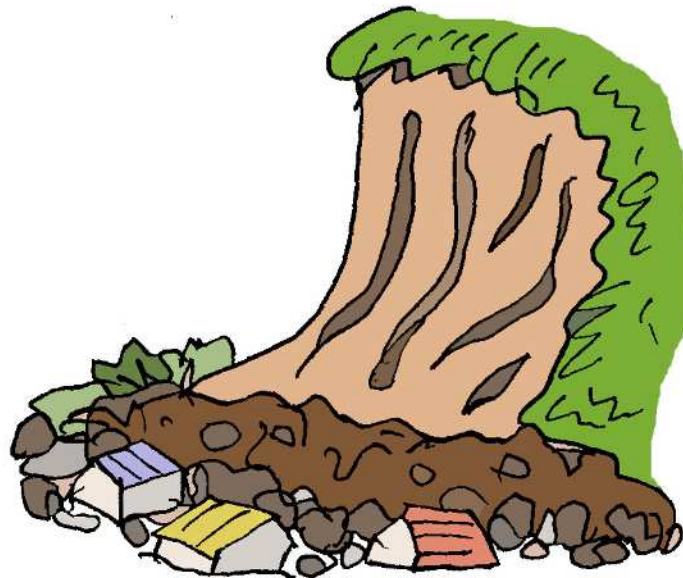
出典：東京都建設局「石神井川洪水浸水想定区域図」（想定最大規模）（令和元年5月）

北区の河川が氾濫したら

- ・ 荒川の氾濫と石神井川の氾濫との違い

水害 比較項目		荒川の氾濫	石神井川の氾濫
規模	浸水深	5 m以上；2階建ての屋根以上	5 m未満；2階建ての軒下まで
	浸水継続時間	2週間以上	数時間～1日未満
リードタイム (避難行動に費やせる時間)		降雨等により数日前から洪水を予測することができる	雨が強くなってから河川の水位が上がるまでの時間が短い

土砂災害とは

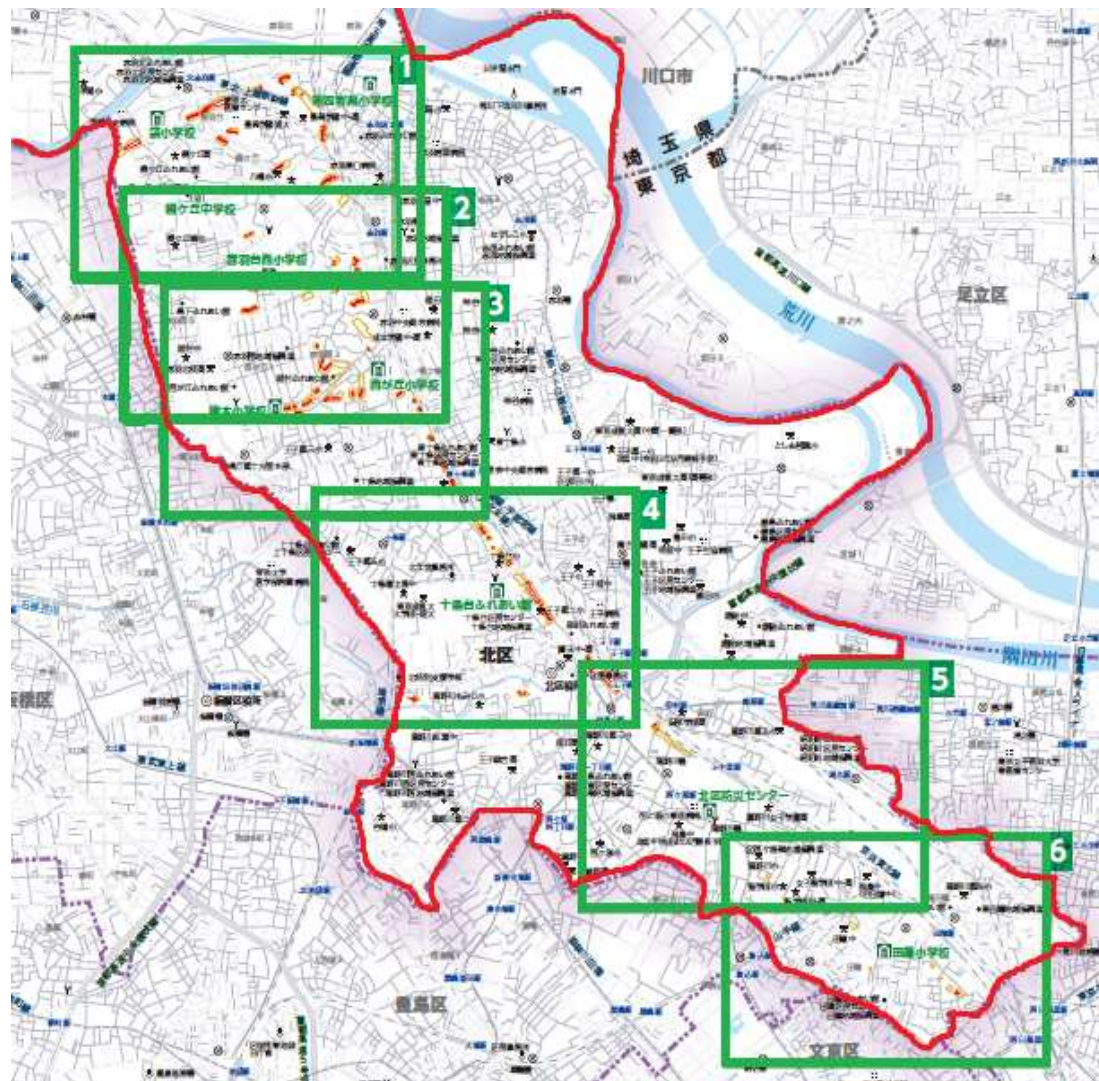


大雨が降ると、がけは突然崩れ落ちます



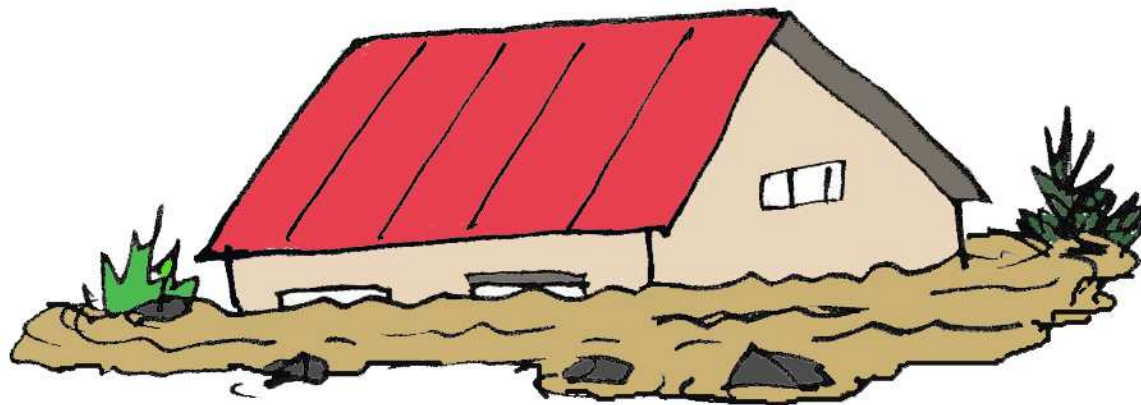
大雨により土砂災害の危険性が高まったとき（大雨警報・土砂災害警戒情報の発表など）、適切な避難行動を取れば「**命を守る**」ことができます。

土砂災害警戒区域の確認



全体図(土砂災害ハザードマップ P9-10)

水害から身を守るために



「水害」は突然には起こらない



しっかり準備をすることが大切！

- 防災気象情報や避難情報の理解・収集
- 適切な避難行動

水害から身を守るために（最新の情報）

警戒レベル
4

ひなんしじ
避難指示で必ず避難

ひなんかんこく
避難勧告は廃止です

警戒レベル	新たな避難情報等		これまでの避難情報等
5	 災害発生 又は接近	さんさゆうあんぜんかくほ 緊急安全確保※1	災害発生情報 (発生を確認したときに発令)
~~~~<警戒レベル4までに必ず避難！>~~~~			
4	 災害の おそれ高い	ひなんしじ <b>避難指示※2</b>	・避難指示(緊急) ・避難勧告
3	 災害の おそれあり	こうれいしゃとうひなん <b>高齢者等避難※3</b>	避難準備・ 高齢者等避難開始
2	 気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	 今後気象状況 悪化のおそれ	早期注意情報 (気象庁)	早期注意情報 (気象庁)

# 大規模水害を想定した避難行動の基本方針

(令和2年3月策定)

## 「大規模水害時の避難行動の基本方針」 ～避難の心得五か条～

1. 自立して避難しましょう。
2. 災害を知りましょう。
3. 自宅にとどまらず、できるだけ遠くの高台に逃げましょう。
4. 本当に必要な人のために、車避難は避けましょう。
5. 誰ひとり取り残されないようにするために、周囲の人に手を差し伸べましょう、差し伸べてもらえるようにしましょう。

### 北区からの宣言

北区は全庁をあげて、支援を行います。

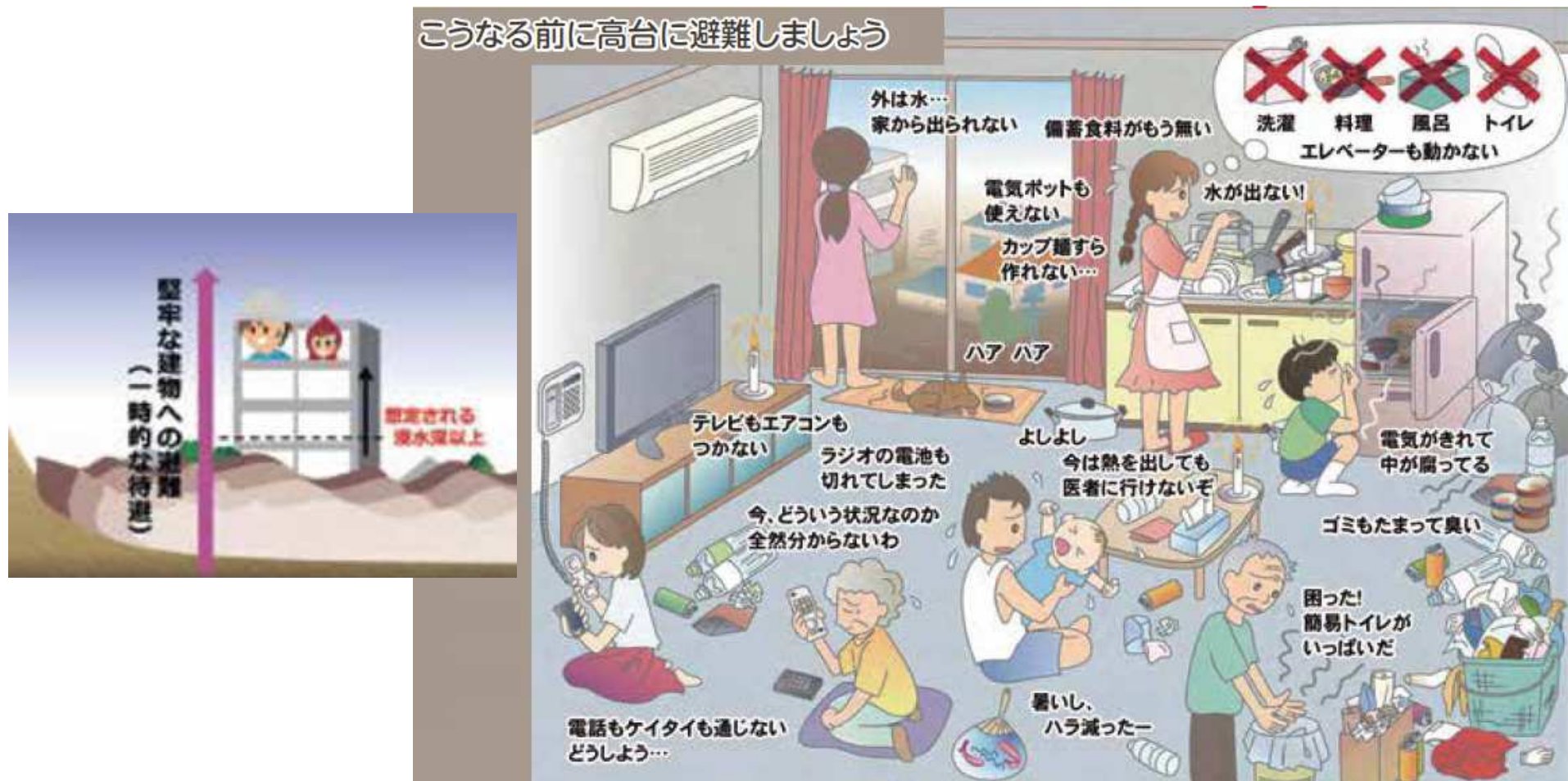
## 大規模水害対策

# 荒川の氾濫が想定される際、奨励される避難行動



## 大規模水害対応

# 垂直避難は「やむを得ない場合にのみ実施」



## 水害時の避難場所

北区では想定する水害に応じて、  
2つのパターンで避難場所を開設します。

荒川の氾濫が想定される場合

＝低地部にお住いの約20万人の方々の避難が必要

→高台にできるかぎりの避難場所を開設

	施設名	所在地		施設名	所在地
①	王子第三小学校	上十条5-2-3	⑬	滝野川もみじ小学校	滝野川3-72-1
②	王子第五小学校	上十条2-18-17	⑭	十条富士見中学校	十条台1-9-33
③	梅木小学校	西が丘2-21-15	⑮	稲付中学校	赤羽西6-1-4
④	桐ヶ丘郷小学校	桐ヶ丘1-10-23	⑯	桐ヶ丘中学校	桐ヶ丘2-6-11
⑤	赤羽台西小学校	赤羽台2-1-34	⑰	滝野川紅葉中学校	滝野川5-55-8
⑥	西が丘小学校	十条仲原4-5-17	⑱	飛鳥中学校	西ヶ原3-5-12
⑦	滝野川小学校	西ヶ原1-18-10	⑲	旧富士見中学校	上十条3-1-25
⑧	滝野川第二小学校	滝野川6-19-4	⑳	北区役所滝野川分庁舎	滝野川2-52-10
⑨	滝野川第三小学校	滝野川1-12-27	㉑	旧滝野川第六小学校	滝野川5-44-15
⑩	西ヶ原小学校	西ヶ原4-19-21	㉒	旧田端中学校	田端6-9-1
⑪	谷端小学校	滝野川7-12-17			
⑫	田端小学校	田端5-4-1			



## 水害時の避難場所

北区では想定する水害に応じて、  
2つのパターンで避難場所を開設します。

石神井川の氾濫や土砂災害が想定される場合

→災害の発生が懸念される  
場所の近くに避難場所を開設

②  
垂直避難



	施設名	所在地		施設名	所在地
①	堀船小学校 ※1	堀船2-11-9	⑦	赤羽台西小学校	赤羽台2-1-34
②	柳田小学校 ※1	北区豊島2-11-20	⑧	西が丘小学校	十条仲原4-5-17
③	滝野川紅葉中学校	滝野川5-55-8	⑨	田端小学校	田端5-4-1
④	第四岩淵小学校 ※1	赤羽3-24-23	⑩	十条台ふれあい館 ※2	中十条1-2-18
⑤	梅木小学校	西が丘2-21-15	⑪	桐ヶ丘中学校	桐ヶ丘2-6-11
⑥	袋小学校 ※1	赤羽北2-15-3	⑫	北区防災センター	西ヶ原2-1-6

## 大規模水害が想定される場合にわたる避難に関する課題

### 1 避難場所のキャパシティ

- ・避難者20万人に対して、高台にある区立小中学校の収容能力は5万人程度
- ・膨大な避難者数に対し十分な備蓄は不可能  
→避難者に備蓄物資を持参いただくことが必要



### 2 区民の気持ち

- ・楽観視、荒川は氾濫しないでしょ（思いたくない）
- ・近所の高い建物へ逃げれば安心
- ・遠くまで逃げられない（歩けない）



### 3 タイムライン

- ・どのタイミングで逃げたらいいのか？
- ・いつ避難場所は開設されるのか？



### 4 避難経路

- ・低地部から高台への経路は決して十分ではない
- ・江東5区には250万人の広域避難者がいる

# テーマⅡ 備蓄のこと

## 北区の備蓄物資

### 備蓄倉庫（区が設置している12か所の倉庫全体の量）

備蓄物品名			数量	備蓄物品名			数量
食料	クラッカー		143,290 食	医療員	担架		110 台
	アルファ米		115,700 食		三角巾		2,900 枚
	白粥		10,000 食		ろ水機（手動）		5 台
	ミネラルウォーター（500 ml）		33,600 本		炊き出しセット		13 組
日用品	毛布		39,160 枚	資材等	発電機		28 台
	ビニールゴザ		16,980 枚		投光機		22 台
	カーペット		19,190 枚		テント		124 張
	ほ乳ビン		1,410 本		ロッジ型テント（都）		20 張
	紙おむつ	大人用	10,370 枚		スコップ		190 本
		乳児用	46,410 枚		ツルハシ		190 本
	ビニールシート		2,180 枚		仮設便所	大使用	255 棟
	トイレットペーパー		6,200 巻			小使用	12 棟
	生理用品		244,530 枚		マンホールトイレセット		54 組
	おりものシート		39,600 枚		簡易トイレ		293 台
ウェットティッシュ		252,000 枚	リヤカー		30 台		

## 避難所備蓄室（避難所ごとの量）

備 蓄 物 品 名			数 量	備 蓄 物 品 名			数 量
食 料	クラッカー		560 食	資 材 等	電気メガホン		2 台
	アルファ米		4,000 食		強力ライト		2 台
	白粥		1,500 食		投光機		2 台
	ミネラルウォーター（500 ml）		1,200 本		バルーン型投光機（L E D）		1 台
	パン		240 食		ソーラーランタン		10 台
	粉ミルク		480 食		発電機		2 台
	カレー		300 食		コードリール		2 台
日 用 品	毛布		300 枚		電熱器		2 台
	ほ乳ビン		160 本		ビニールシート		2 枚
	おかん器（ほ乳瓶用）		30 個		ロープ		2 巻
	下着		1,000 枚		簡易トイレ		14 台
	食器セット		10,000 セット		トイレ用袋		400 枚
	カセットコンロ		2 台		仮設便所		3 棟
	カセットガスボンベ		6 本		マンホールトイレセット		3 組
	紙おむつ	大人用	374 枚		自動ラップ式トイレセット		1 式
		乳児用	456 枚		個室用テント		6 台
	トイレットペーパー		480 巻		D-1ポンプ		1 台
	ウェットティッシュ		2,000 枚		スタンドパイプセット		1 式
	携帯カイロ		240 枚		浄水機（手動）		1 台
	生理用品		590 枚		組み立て水槽		2 台
	尿もれパッド		200 枚		炊き出しセット		1 台
	おしりふき		220 枚		給水タンク（1t）		2 基
	おりものシート		560 枚		給水タンク（0.5t）		2 基
	清浄綿		350 枚		災害救助用工具セット		1 組
	口腔用ウェットガーゼ		450 枚	折り畳みリヤカー		1 台	
	ペット用簡易サークル		5 個	車椅子		1 台	
	ペットフード	犬用	24 缶	担架		1 台	
		猫用	12 缶	防犯ブザー		50 個	
				筆談用磁気ボード		3 枚	
				災害時特設公衆電話		5 台	
				避難所開設キット		1 式	

## 飲料水の確保（主なもの）

- 1 応急給水槽（循環式1，500トン）  
区内3か所に、給水ステーションを設置（約50万人×3日間）  
※桐ヶ丘中央公園、北運動場公園、滝野川公園
- 2 給水車（1台あたり500ml×4,000本の水量を運搬可能）  
給水ステーションから水を運ぶ車両を3台保有（23区最大）
- 3 **スタンドパイプ**（東京都水道局から貸与）  
配水管から水道メーターの間に設けた応急給水栓を活用し、水道水の圧力で水道水を取水することができる器具（避難所に配備）
- 4 浄化装置  
学校のプールの水を飲料用に浄化する器具（避難所に配備）



# 区民の皆さまにお願いしたいこと

## ～令和2年策定 災害用備蓄・管理・供給計画より～

1 3日分（推奨1週間分）の非常用備蓄品の準備  
食料品（アレルギー対応など）、飲料水など

2 身の安全を最優先としながらも  
できるだけ避難場所へは必要な物資の持参を  
（特に大規模水害時）

地震時には約8万2千人が被災すると想定

一方で、荒川の氾濫を伴う大規模水害では、区内被災者は約20万人と想定

3 食料や水以外の備蓄も  
常備薬の他、生理用品、毛布・寝具、携帯トイレなど

# ローリングストック

（普段使っているものを少し多めに備えること）

普段使っ  
ているも  
ので備蓄

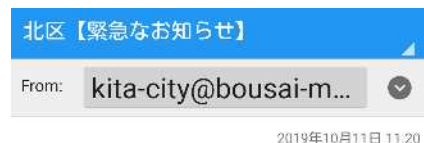
# テーマⅢ その他防災に関する区の取組

## 北区メールマガジン（防災気象情報）

気象庁等が発表する各種気象情報や地震情報などを携帯電話やパソコンに電子メールで配信するサービスです。

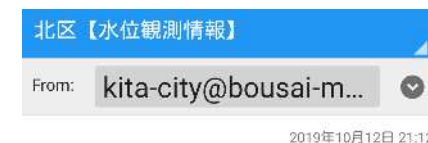
北区独自の情報配信があります

種類	内容
気象注意報・警報	大雨、洪水、大雪、雷の注意報、大雨、洪水、暴風、大雪の警報の発表と解除を配信
豪雨のお知らせ情報	北区内で1時間以内に豪雨（1時間に50ミリを超える雨量）が降ると予測したときに配信
土砂災害警戒情報	北区内における土砂災害警戒情報の発表と解除を配信
地震情報	23区で震度3以上もしくは、全国で震度5弱以上の地震が発生したときに配信
台風接近情報	23区西部に台風の暴風警戒域が、48時間前に入ることが予想されたときに配信
竜巻注意情報	東京都に竜巻注意情報が発表されたときに配信
荒川河川洪水情報	荒川に氾濫の恐れがあるとき、国土交通省と気象庁が共同で発表する荒川洪水予報を配信
水位観測情報 （石神井川）	北区内の水位観測所（石神井川）で基準水位を超えたときに配信 ※北区のホームページでは水位観測所のライブ映像も配信しています ※石神井川氾濫注意水位はこのサービスでのみ配信されます。
熱中症予防情報	※現在サービス停止中 熱中症（Web値）が一定の基準値を超えたときに配信
緊急なお知らせ	大雨・洪水などの気象災害や地震などの災害が発生した時または災害発生のおそれがある場合に、北区から緊急のお知らせとして、避難勧告やその他の緊急情報を配信
週末の天気予報	東京地方の週末天気を電子メールの配信確認を兼ねて、毎週金曜日のお昼頃に配信



こちらは北区防災気象情報メールです。  
台風19号の接近に伴い万が一の石神井川はん濫、土砂災害等に備えるため、十条富士見中学校、赤羽台西小学校、西が丘小学校、袋小学校、田端小学校、第四岩淵小学校、梅木小学校、桐ヶ丘中学校、堀船小学校、柳田小学校、滝野川紅葉中学校、北区防災センターの12施設を「自主避難施設」として10月12日（土）午前9時30分より開設します。

詳細はこちら



発表時刻:21時10分

こちらは北区防災気象情報メールです。

12日21:10溝田橋(王子1丁目)の水位が避難判断水位を超えました。あふれるおそれがありますので、注意してください。

詳細はこちら

<http://www.bousai-mail.jp/kita-city/rireki/suii/2.html>

河川ライブカメラはこちら

<http://www.bousai-mail.jp/kita-city/rireki/camera/2.html>



※令和3年度7月1日から一部仕様が  
変わります。

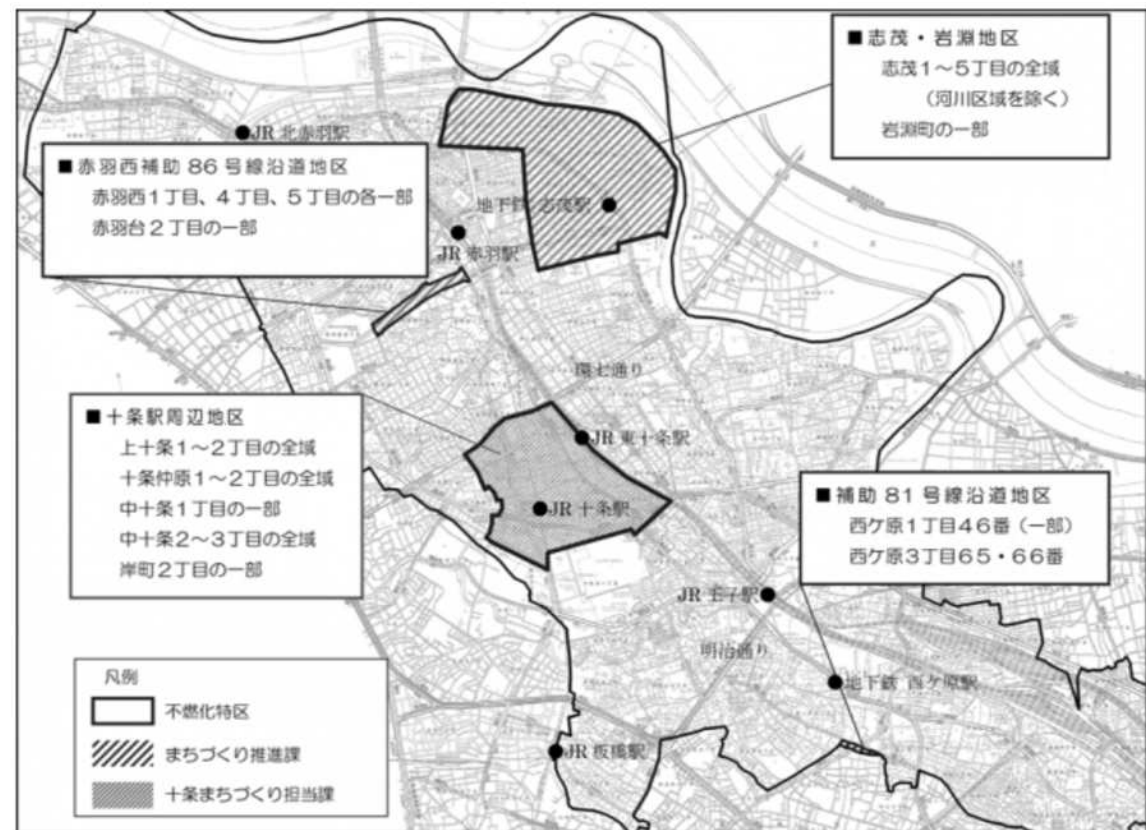
## 各種支援策① 街路消火器の設置

初期消火活動を支援するため、区内全域におよそ4,700本の消火器を設置しています。



## 各種支援策② 感震ブレーカーの配布

地震時における通電火災等の被害を防止するため、不燃化特区（※）内の木造住宅にお住いの皆さまに、無償で配布しています。



### 各種支援策③

各年度秋頃より実施

## 家具転倒防止器具等取り付け支援

### <対象>

- (1) 「北区避難行動要支援者名簿」に登録されている方
- (2) 65歳以上のみで構成される世帯(単身含む)の方

### <事業の内容>

つっぱり棒などの家具転倒防止器具や簡易型感震ブレーカーの取り付けが自力では難しい方を対象に、区の委託業者(公益社団法人シルバー人材センター)をご自宅に派遣することで取り付けを支援します。



# 北区防災センター



展示ホール正面



地震体験



煙体験



心肺蘇生



**自然の猛威から逃れることはできなくとも、  
日ごろの備えで  
被害を軽減することは可能です。**

**北区は、地震・水害に強い、安全・安心な  
まちづくりに全力で取り組みますので、  
ご理解・ご協力をお願いいたします。**

区の水害対策について知りたいことやご不明な点は  
北区役所防災・危機管理課にお問合せください

担当：北区役所防災・危機管理課  
電話：03-3908-8184



# グループ討議のテーマ

(1) 荒川等の氾濫が懸念されるケースにおいて、低地部にお住まいの方々が、速やかに安全な避難行動をとっていただくためには、どのような取り組みが必要でしょうか？

(2) ご自身やご家庭で行う災害に対する備え(自助)を進めていくには、どのような取り組みが有効でしょうか？